

ヒマリは



恋してる!!?



歩いてる?!

カ



「今日は特別ですよ」って
言ったが…ヒマリ、遅いな…



ええヒマリ…

先生!

お待たせしてしまいましたか?

ダッ

ダッ



見間違いじゃないよね……

キラ

キラ



こんなヒマリ……初めて見た……

先生！

付き合って半年経つけど……

いくら私が清楚系病弱美少女だからといって
そんなにまじまじと見つめるなんて
失礼ですよ！



ヒマリが自分の足で
立っている

脚を治したの？



カ

いや…ごめん…
それよりその脚は…?!

ふふ…この天才美少女の
完璧な美脚にすっかり釘付けのようですね

デカグラマトンの技術を逆解析して開発した人工脊髄です
我がミレニアムの科学は世界一ですから

それは…

先生…キヴオトス全土で
最も美しいあなたの恋人が

今こうして、
優雅に目の前に立っているのですよ？
感想はたったそれだけですか？

する、…



情事に至るのは今日が初めてではないのに…
今日の彼女は見たことのない魅力を纏っている

先生…

ドッ

ドッ

服越しでも、
彼女の高い体温と高ぶる感情が感じられる

ズ…

ちゅっ

しゅっ



あっ...先生...!
乳首噛んじゃダメ...んっ

あっ

がっ



...ああ!

ちょっと待ってください先生!
今日は特別な日なのですよ?



え?!



ヒマリ...そろそろ...

この超天才美少女とセックスできるなんて
先生は世界一の幸せ者ではありますが

いつも先生ばかりに負担をかけるのは
申し訳ない気持ちがあったのです

ほら……先生はここを
責められるのが好きですよ

太ももとふくらはぎに
ぎゅっと挟まれて……っ

せっかく脚が動くようになったので
こういうのはどうですか？

くちゅ♡

クッ♡

クッ♡

きゅん♡

すっ♡

いっ♡



下着つけてなかったの!?

次は...

う...大きすぎる...

いあ♡

んん♡

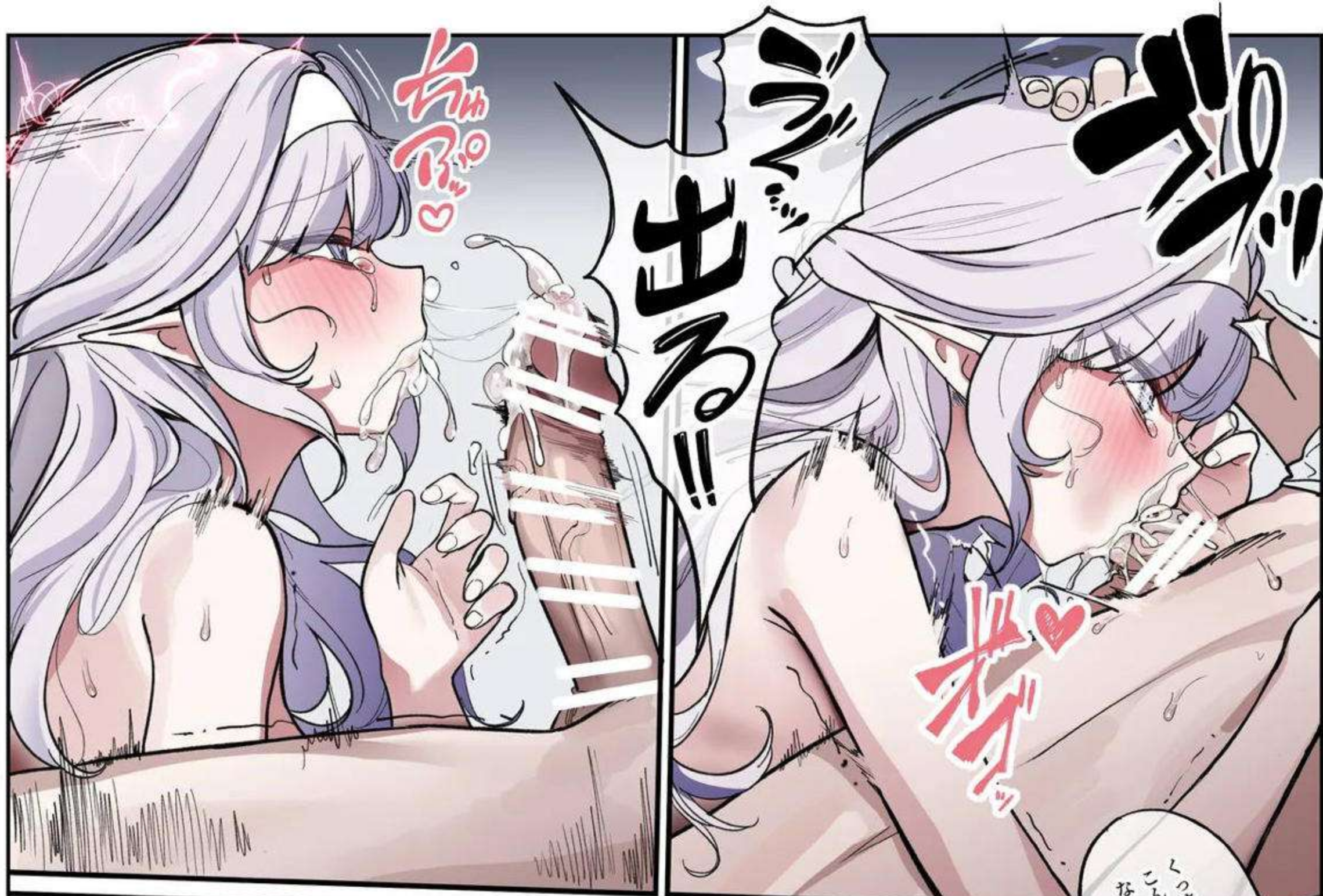
う
ん♡

ん♡

ん♡

カリも...

これでは亀頭すらも
口に全部入らない...





もう…先生！
この千年に一人の美少女が真珠のような唇で
特別にご奉仕をしているというのに
それを邪魔するなんて失礼ですよ！

ですが反撃できるのは今だけですよ？
ここからが今日という日の為に
用意した特別なサービス…

ふふ…泣き言を言わないでくださいね

たっ…

ん？！

ぐわっ

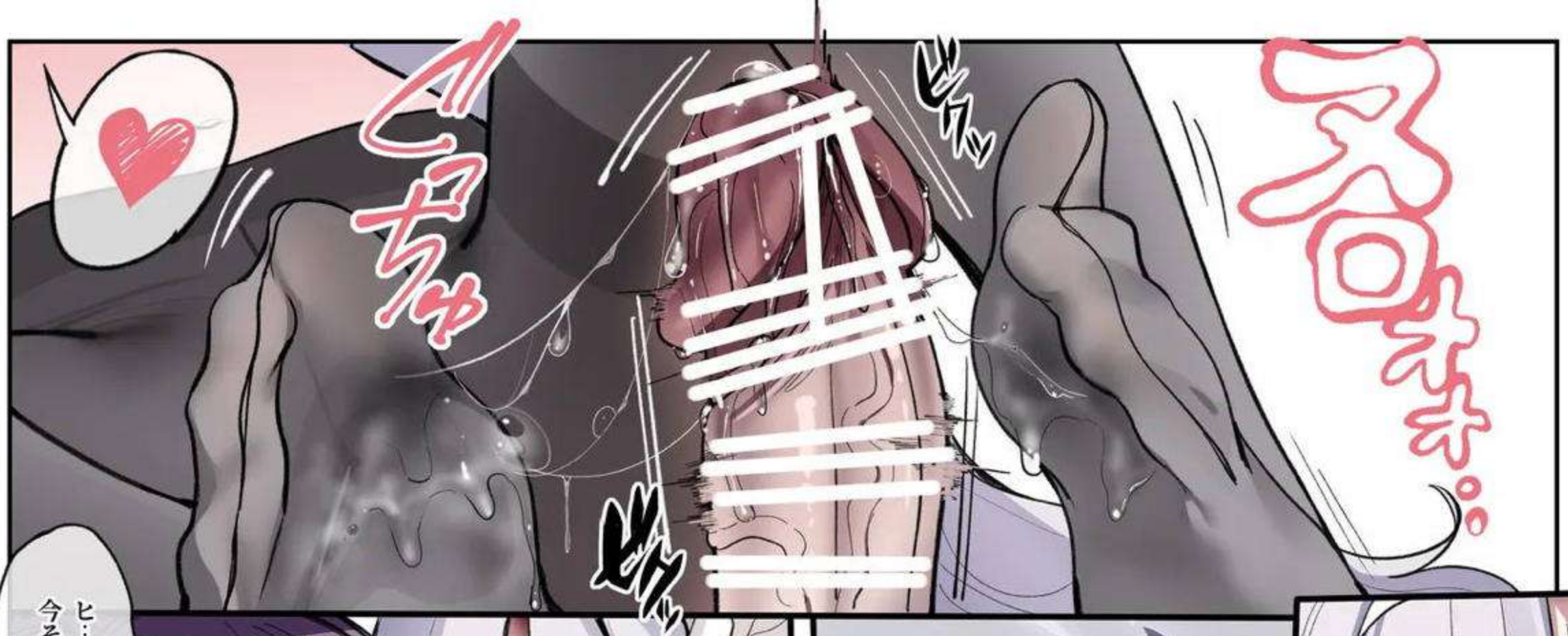
スー

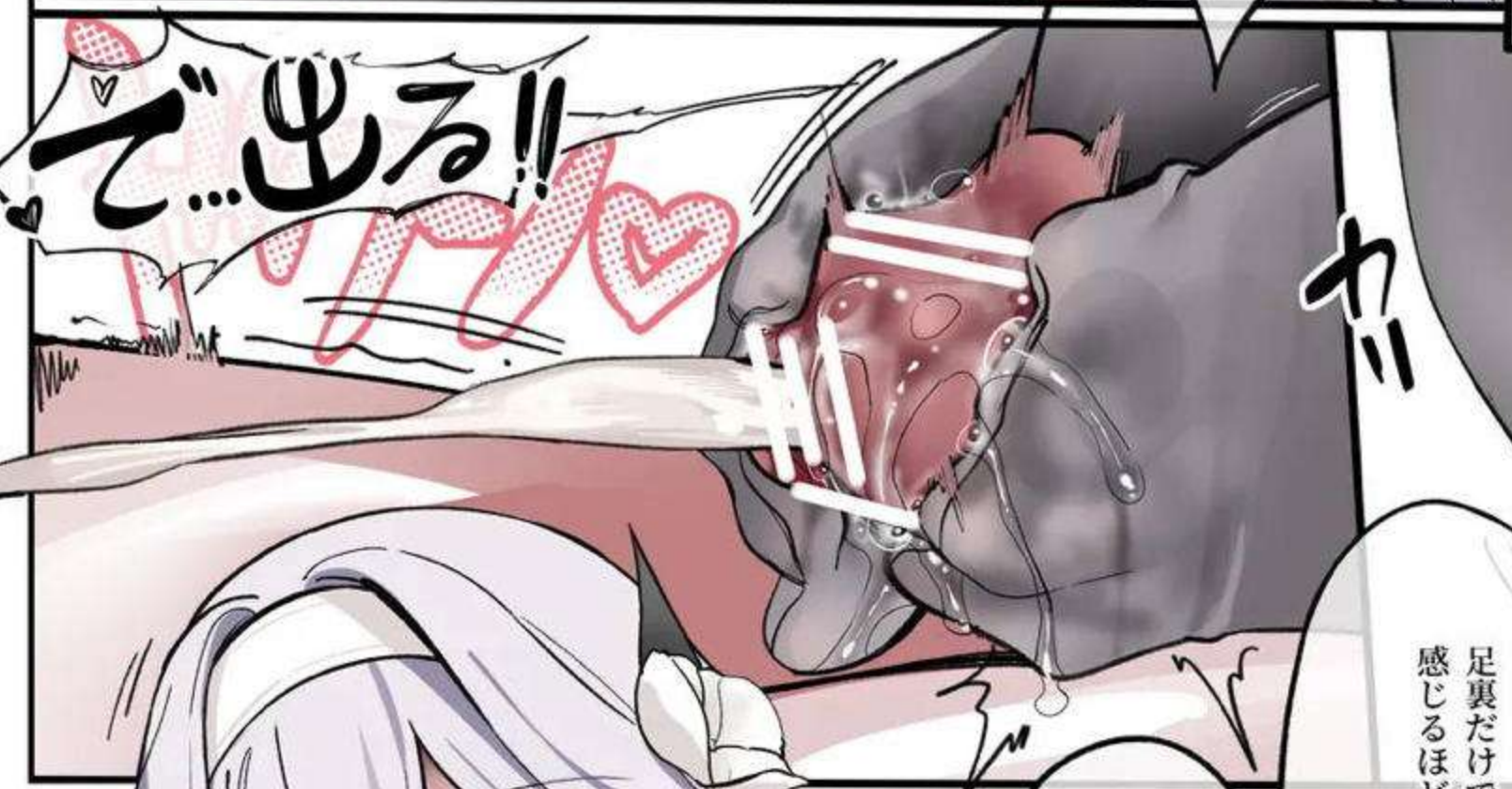
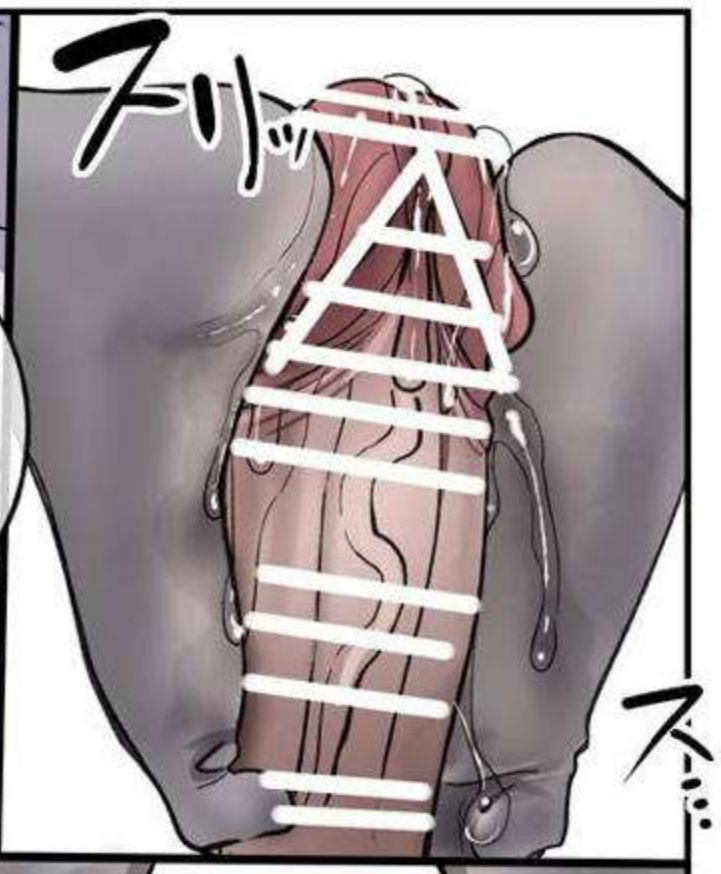
ちゅっ

ぬちゅ

ちゅっ

あー







先生…挿入れてください

あなたのヒマリを…
あまり待たせないでくださいね？

はぁ♡♡♡



あれ...？今までと全然違...
まるで衝撃のような快感...

先生のおちんぼが内臓まで
届いてるのが分かる...
こんなにはっきり感じるなんて...
まさか...

ズン



一方で脳に直接接続されているためか
性的快感も予想外に増幅されている...

ズン
これは...
少々まずいかも...



外部装置を通じて神経信号を直接伝達し
立って歩くことを可能にする

人工脊髄ユニットが原因...？

ズン

はッ

ズン

雌^{メス}になる……!!

んあゝ

おっぴん

んあゝ

頭がバチバチして……!!

んあゝ



ちよっ…先生!?

バ

何をしているんですか!?

この天才美少女との
セックスをちゃんと味わって…

グ

押すのはダメです!ダメ…!

ん

…って何故続けるのですか!?

やめてください!

確か…ここだったかな?
前からずっと試したいと
思ってたんだ

カリ

メ

ヒキ

!?

ヒキ

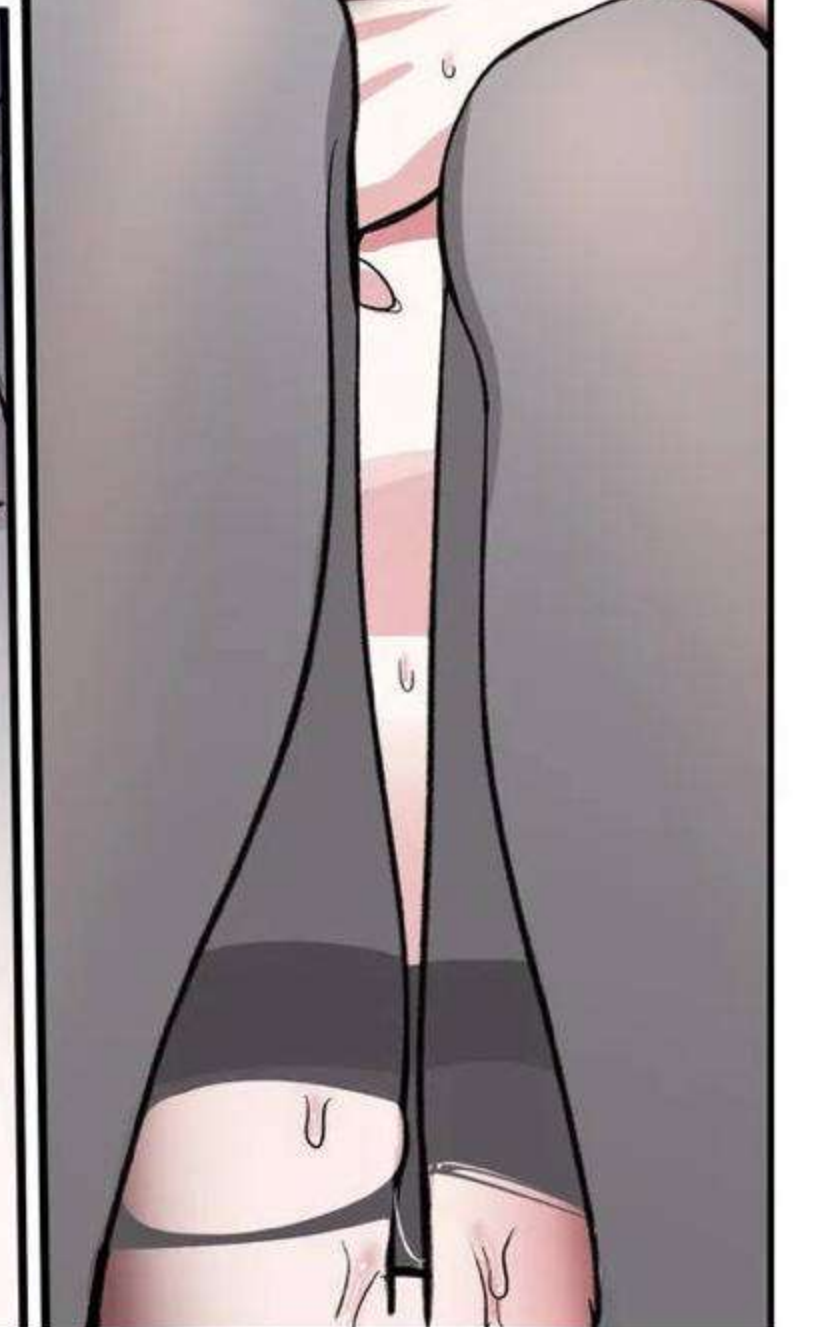
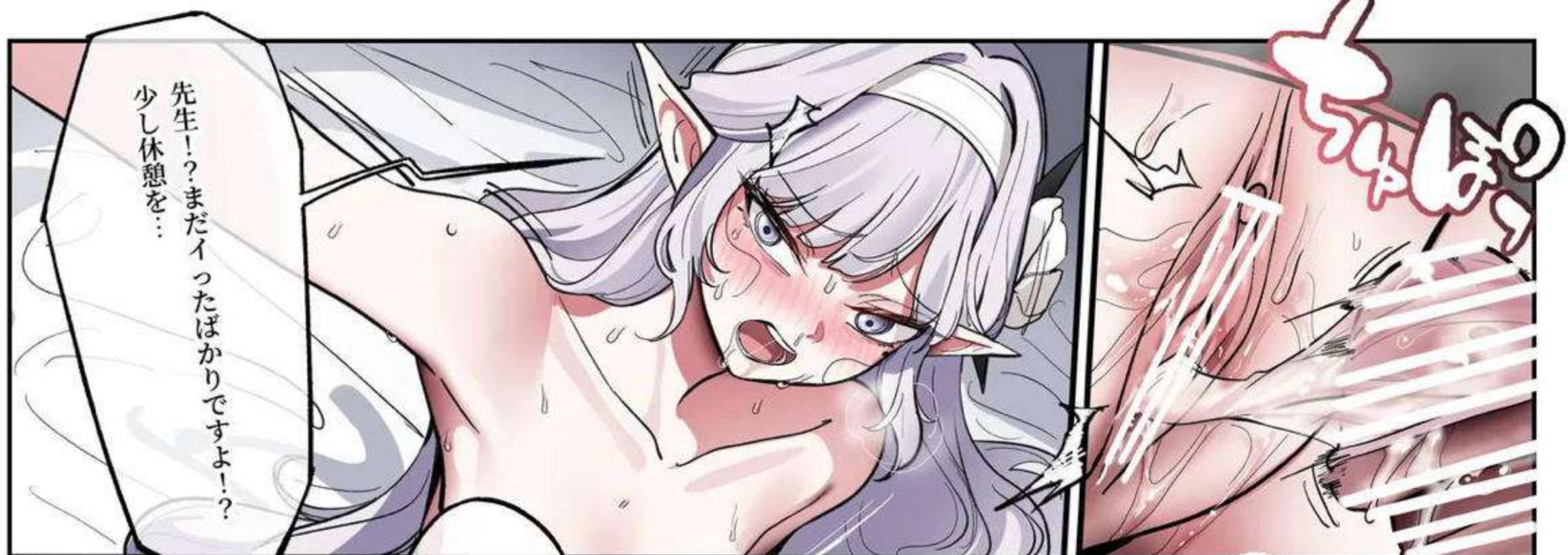


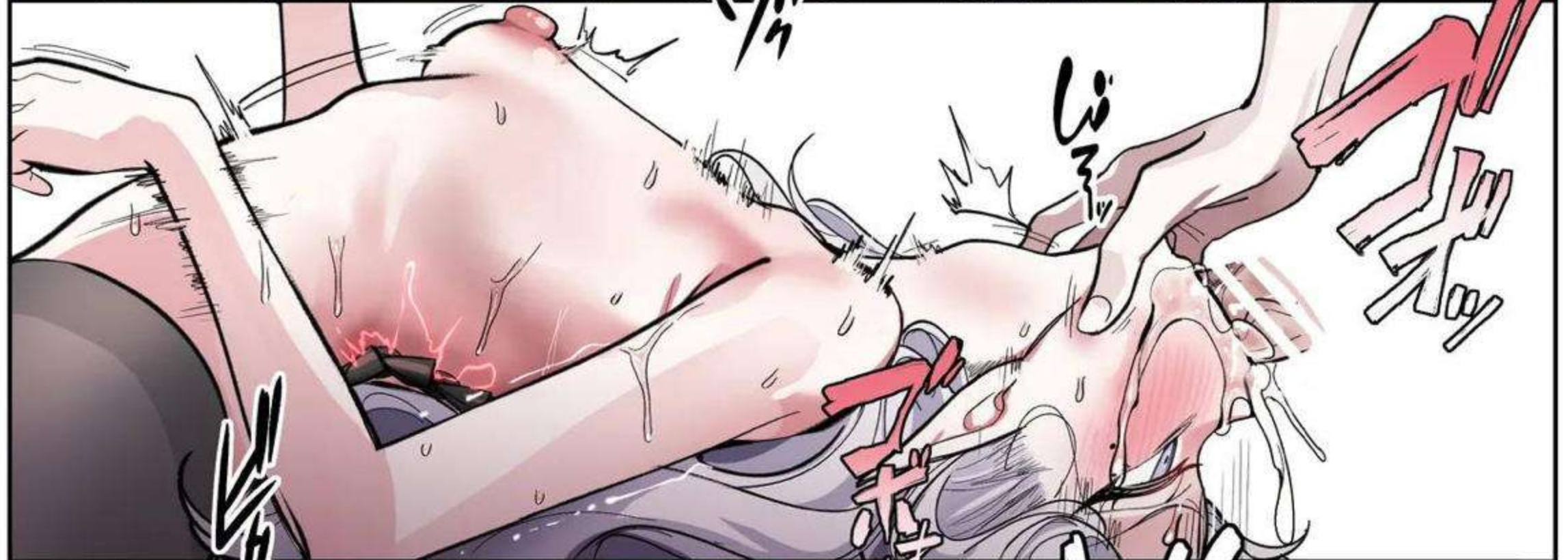
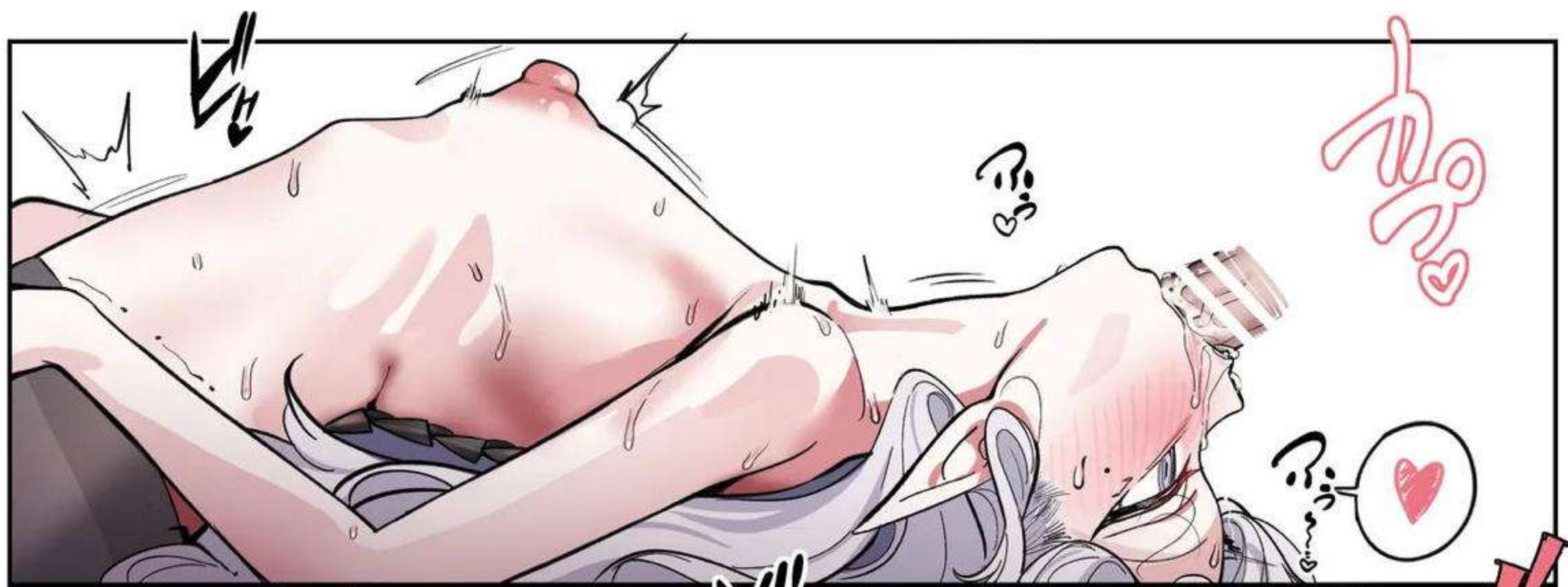
イ
ッ
キ
ン
ッ
キ
ン
ッ
キ
ン

イ
ッ
キ
ン
ッ
キ
ン
ッ
キ
ン

ッ
キ
ン
ッ
キ
ン
ッ
キ
ン

い
い
い
あ
あ
あ





もう少して気絶するところだった…

ゲホッ

あゝ♡

やば♡

グッグッ♡

かつ…せんせ…っ

気持ち良すぎて…指…止まらない…

もう無理！
もう無理です！

ごめんね
ヒマリ…









待ってください先生！
人工脊髄に何か異常が…

検査しないと…！

あまりの快楽の強さに
負荷がかかりすぎた？

頭の中で何か音が…
まずい

ほ…ほんとうに…

あ…もうダメ
足が少しも動かない…

先生に抵抗することも
できない…

びびん

あ

ビクッ

ビクッ

でも…幸せ…
このまま死ぬのも
悪くないのかも…

そろそろ出すよ
受け取れヒマリ！

ハニャ

ガクッ

舌が痺れる
下顎もコントロールできない
声を出すことさえ…

このままでは死んでしまう…





本当にごめん…

すっかり夢中になって
気が付かなかったよ

せっかく作った人工脊髄も壊しちゃった
もし私に何かできることがあれば何でも…

何でも…ですか

私が一番したかった事…
明星ヒマリの最大の願いは
『貴方と一緒に歩くこと』ですよ？

そのためにあの子は作られ
立派に役目を果たしてくれました

おかげで私は今
最高に幸せです

みなさん、こんにちは！中村六翊です。
今回はヒマリ中心の純愛エロ漫画です！
どうでしょう、みなさんにヒマリへの愛をちゃんと伝わったでしょうか？

途中でちょっと過激なプレイもあるかもしれませんが、ヒマリと言えば
やっぱりマゾやドMの印象が強い…彼女が楽しそうだから過激でも大丈夫ですよ（大嘘）
ブルアカに初めて触れたきっかけはヒマリの濡れた赤い足裏だったんですが、
脚は不自由だから足コキは難しいみたいで、めっちゃ残念…
だから「人工脊椎を開発して彼女の足を自由に動かせ、足コキできるようにしよう」
ってアイデアが生まれたんです！
中国語で言うところの「この酔のために餃子を作った」ってやつですね。

また、友達の絨灰さんの助けのおかげで、印刷期限に
間に合わなかったかもしれないこの漫画を無事に完成させることができました。本当にありがたい…
私の個人的な性癖ですが、みなさんもこの漫画を楽しんでもらえたら嬉しいです！

